

004 くうとうな



たまたに
りつくんは
遠い目をする

とこも
さみしそうだ



かわいい
妹が
いたんだ

おれには
くうっていう

にい
ちゃん



ああ…

妹のこと
思い出して
たんだよ



どこに行くにも
おれの後を
ついてきたり
してな…

ジュース
もってこい

ドーナツ
もーらい

オレの
もーん

でも…
今はもう
いない…

タワー
ブリッジ



こんなことに
なるんだったら
…

もっとやさしく
しとくん
だったな…



あの
くうには
もう会えない









もうちよつと
やさしく
しとくんだった

びく
びく

今までの
しかえしを
される…



このままでは
……ッ

うおお
もはや力でも
かなわないとは
……!!



びく

う…
う…
う…



お兄ちゃん

やあ



なーに？

うな
こっちこい
こっち



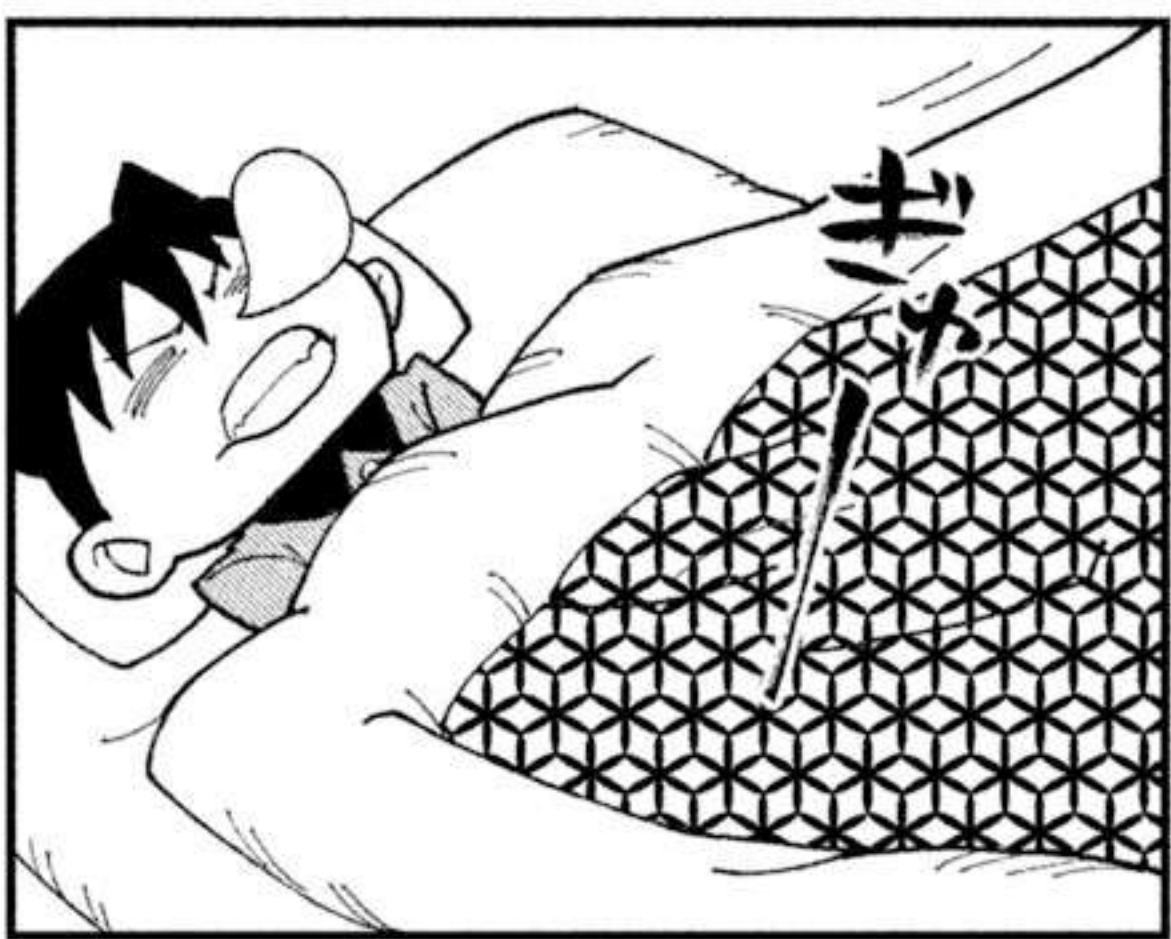
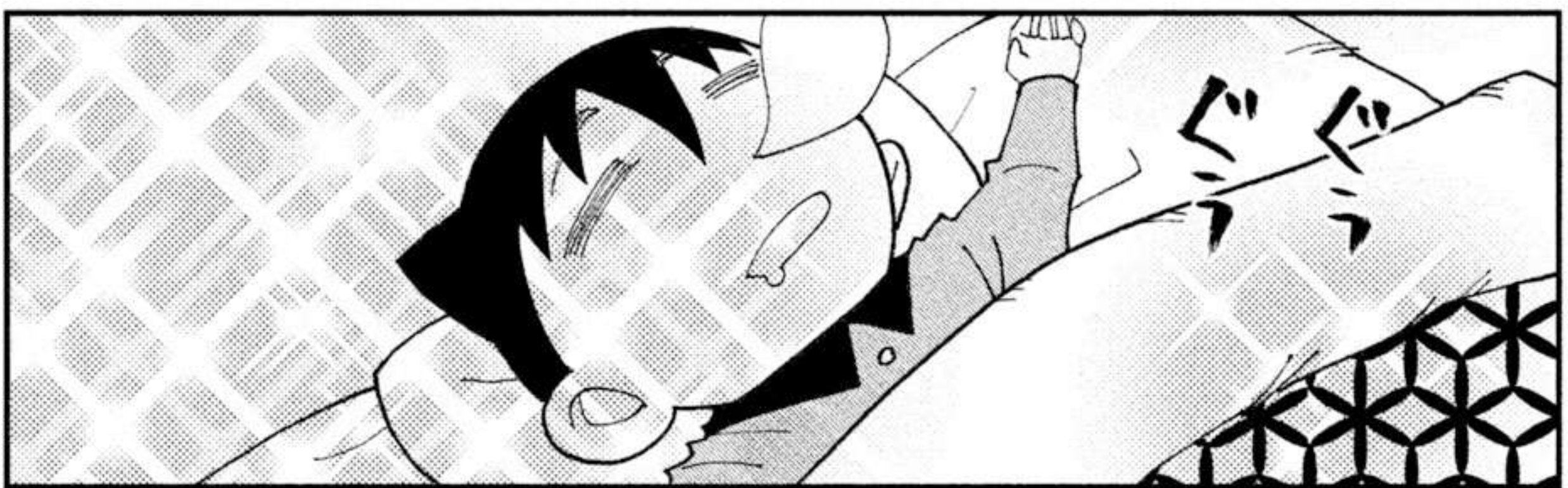
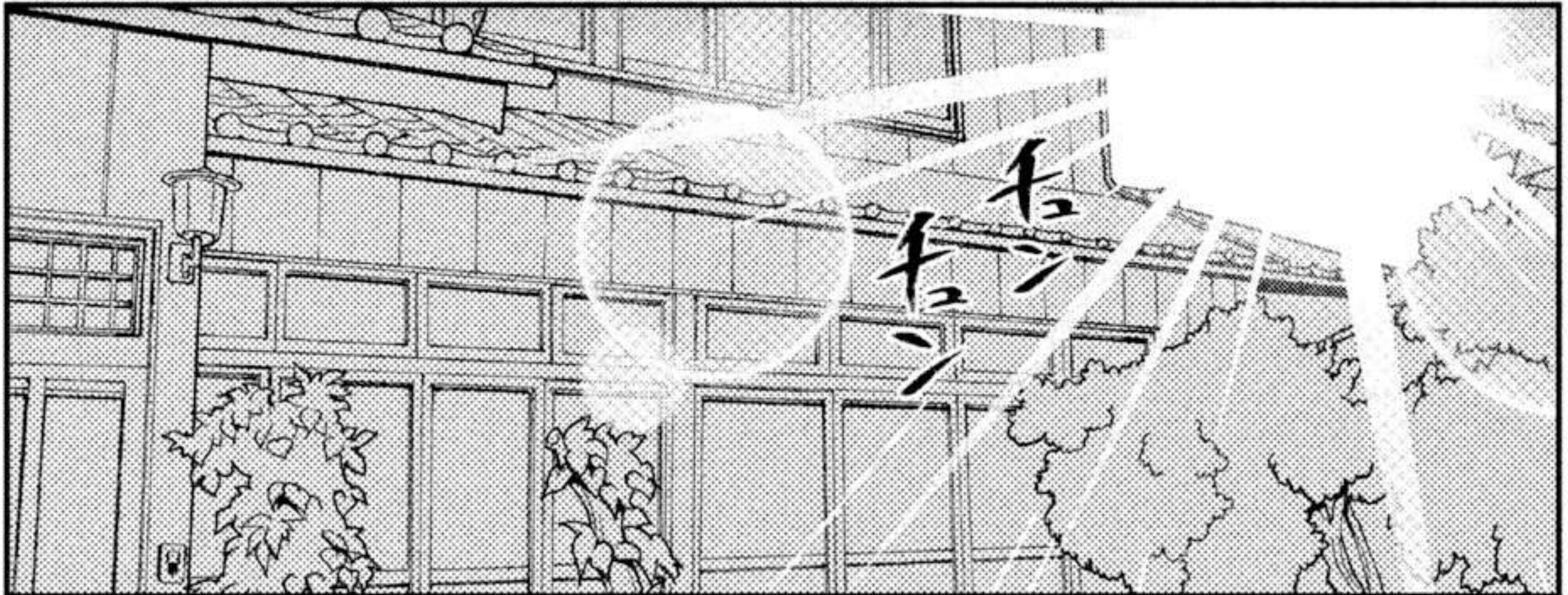
おお!!

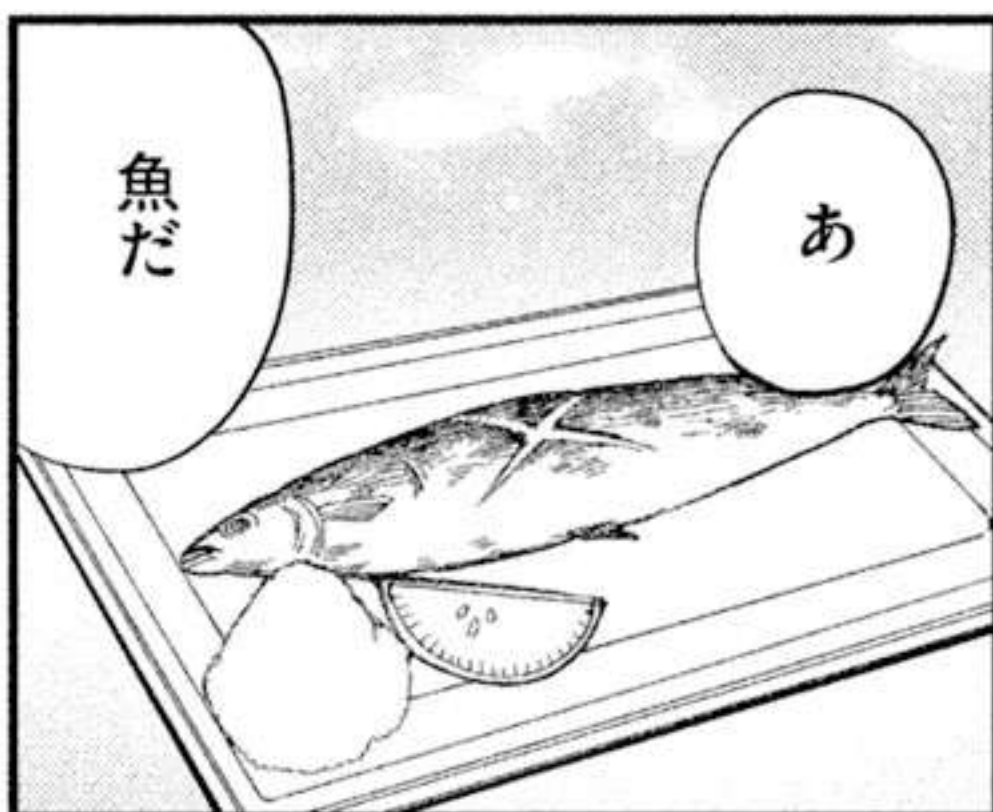
第2の妹
うな!!



びく







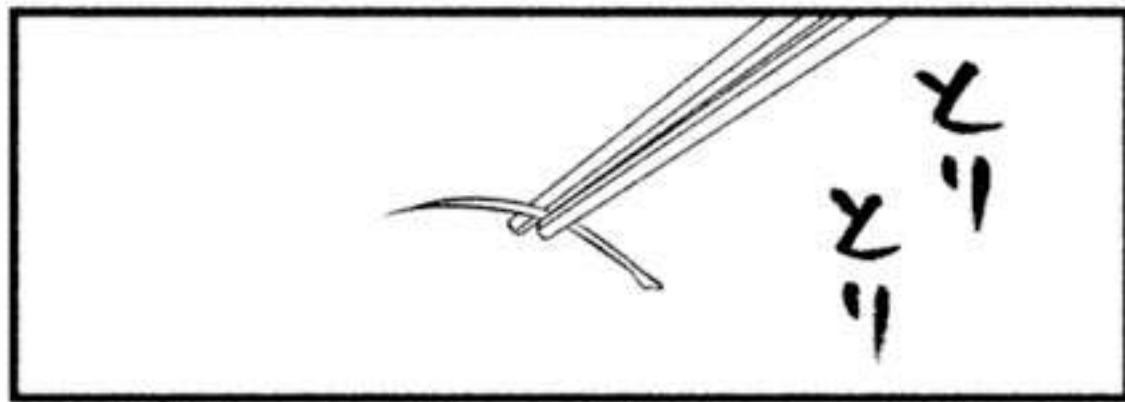


あたしが
とってあげる



お母さん
骨とって—

自分で
しなさい



とり
とり



気づいて
ない：
すでに立場が
危ういことに
気づいてない

はい

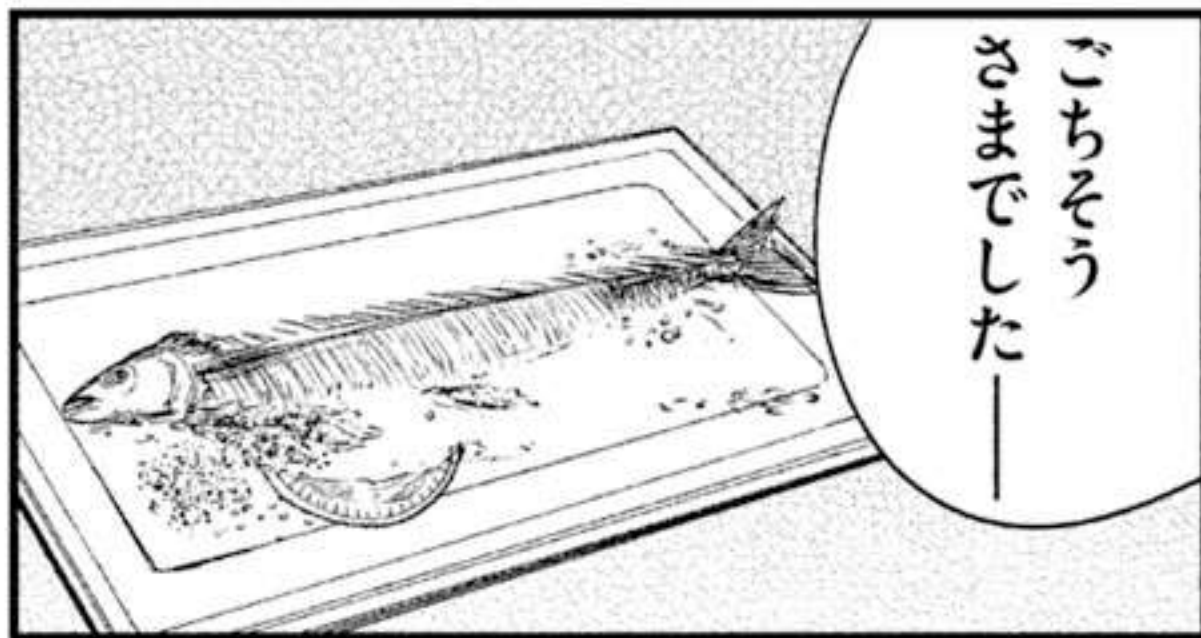
はい



ほお—う
こいつ
ちゃんと自分の
立場ってものを
わかってるじゃ
ないか

そうだ妹よ
おまえはおれの
しもべなのだ

とり
とり



ごちそう
さまでした—



はい
ティッシュに
ハンカチ
忘れてる

うむ
気が利く
やつだ

気づいてない
気づいてない

